

該当学年	授 業 科 目 名	担 当 教 員	
1部1年 2部1年	発達心理学	緒方 玲子	
サブタイトル	乳幼児の心身の発達及び学習の過程	単 位 数	2
授業形態	講義		
開講時期	前期	出席要件	4/5以上
到 達 目 標			
<p>本科目の目的は保育者として子ども理解の基本となる子どもの発達を心理学の立場から学ぶことである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 乳幼児期を中心に発達の特徴を述べることができる。 2. 生涯発達の中で乳幼児期の発達、母子関係の発達の重要性を説明できる。 3. 発達心理学の理論を応用し、保育実践へのつながりを理解できる。 			
ディプロマ・ポリシー（専門士授与の方針）との関連			
<p>本科目は、特に「②専門職に関する知識・技能及び表現力を身につけている」ことを目指す科目である。カリキュラムマップにおいて「子ども理解」に位置づけられており、15回の授業により、子どもの発達を理解し、保育、教育現場における実習、保育関連科目を学ぶための基礎を身に付けることが求められている。</p>			
授 業 の 方 法			
<ul style="list-style-type: none"> ・講義においては聴講・ノートテキングを通して授業内容を把握する。 ・アクティブラーニング（グループ・ディスカッション、ロールプレイなど）を通して、理解を深める。 ・確認問題やレポート提出により、授業内容を振り返り、確認する。 ・視聴覚教材を通して多面的に内容を理解する。 			
テキスト・教材・参考図書			
<p>テキスト 福沢周亮 監修 藪中征代他 編著 緒方玲子 他著 『乳幼児の心身の発達と保育実践』教育出版 2012年</p> <p>参考図書 上林靖子監修 河内美恵他編著 『保育士・教師のためのティーチャーズ・トレーニング』 中央法規 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領 保育所保育指針」チャイルド本社 「幼稚園教育要領解説」（政府刊行物） 「幼稚園連携型認定こども園教育・保育要領解説」（政府刊行物） 「保育所保育指針解説」（政府刊行物）</p>			
評 価 の 要 点		総合評価割合	
定期試験、レポート、授業態度、グループ・ディスカッション、発表、振り返りの内容を総合的に評価する。		定期試験	70%
		レポート等提出	20%
		授業への貢献度	10%
履修上の注意事項や学習上の助言など			
<ul style="list-style-type: none"> ・コクヨノート（コクヨ、キャンパスノート B5プリントが切らずに貼れるサイズ）を使用する。 ・授業を欠席した場合は、板書の写しを行うこと（コピーも可）。 ・欠席者への配布物を即日確認し、課題を行い提出する。 ・公認心理師、臨床心理士としての実務経験を活かし、子どもの心身の発達や心理的特質等について、わかりやすく解説します。 			

授業回数別教育内容		身につく資質・能力
1回	ガイダンス 発達心理学の目的と意義を理解する	保育者として発達心理学を学ぶ目的と意義理解
2回	胎児期、乳児期、幼児期の発達 各発達段階の発達課題を学ぶ	発達段階と発達課題の理解
3回	青年期、成人期、老年期の発達 各発達段階の発達課題を学ぶ	発達段階と発達課題の理解
4回	遺伝と環境 発達を規定する内的、外的要因と相互作用について理解する	発達の規定要因理解
5回	発達の初期経験 発達の初期経験の重要性について理解する	初期経験と臨界期、人間の発達の特殊性 理解
6回	身体・運動機能の発達 身体、運動機能、手先の運動の発達について理解する	身体機能、運動機能、手先の運動の発達 理解
7回	認知機能の発達 認知（知覚、記憶）の発達について理解する	乳幼児の知覚、記憶 理解
8回	思考の発達 ピアジェの思考の発達段階について理解する	ピアジェの思考の発達段階の理解
9回	自我と母子関係の発達 母子関係、基本的信頼感の発達について理解する	母子相互作用、基本的信頼感の理解
10回	情緒と言葉の発達 情緒と言葉の発達について理解する	情緒の発達、言葉の発達の理解
11回	遊びと友人関係 遊び、友人関係、社会性の発達について理解する。	ごっこ遊び、集団遊び、友人関係の発達理解
12回	発達障害「気になる子」への支援 ティーチャーズ・トレーニングを通して支援を学ぶ	発達障害、「気になる子」への支援方法理解
13回	愛着障害と愛着理論 愛着障害の事例を通し愛着理論を理解する	愛着障害・愛着理論の理解
14回	統合保育の意義 統合保育の意義と主体的学習を支える集団づくり	統合保育の意義、支援理解
15回	発達心理学 まとめ	発達心理学のまとめ理解
試験	定期試験	

